







1 高学年の取組

① 6年生「分数のかけ算を考えよう」【分数のかけ算】 (4/9時間)

<主張点>

- たっぴーシートにどのように考えを導き出したのかを言葉、数、式、図、数直線で表し、自分の考え方を整理し、確かめることができるようにする。
- グループ討議の話し合いの視点として、乗数が1より大きい場合と1より小さい場合とでは、積はどうかについて話し合うことができるようにする。
- 複数の考え方の共通点や相違点などを見いだす場面を設けることで、学び合いの良さを味わわせ、より深く学習内容を理解することができるようにする。

過程	学習の流れ	
つかむ	 <p>【問題提示】</p>	<p>1より大きい分数と1より小さい分数があることを明確にする。</p> <p>問題 1mの値段が200円のリボンがあります。このリボン$\frac{3}{5}$mと$1\frac{2}{5}$mの代金を求め、それぞれ200円と比べましょう。</p> <p>めあて：1より大きい分数、1より小さい分数をかけたとき、積はどうかについて調べて説明しよう。</p>
もとめる	<p>【自力解決：自分で考える（たっぴーシート）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 児童の実態に応じ、数直線が予めかかれたシートも用意した。 <p>数直線にかくことで、乗数、被乗数の大小関係を明確にする。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="248 949 529 1128">  <p>$\frac{3}{5}$では、200円よりも安くなりそうだ。</p> </div> <div data-bbox="663 949 970 1209">  </div> <div data-bbox="1098 860 1410 1057">  <p>T1・T2による机間指導。支援を必要とする児童にはヒントとなる具体物などを配布する。</p> </div> </div>	
ふかめる	<p>【共同解決：グループや全体で考えを出し合う】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● グループ学習 <div style="display: flex;"> <div data-bbox="210 1317 536 1541">  <p>僕はまず、数直線をかきました。1が200円ということをもとにすると$\frac{3}{5}$mのときの値段は、200円よりも安くなります。</p> <p>積がかけられる数の200より小さくなるのは、1よりも小さい数をかけたときだね。</p> </div> <div data-bbox="1053 1281 1174 1312"> <p>● 全体で</p> </div> <div data-bbox="1053 1317 1410 1559">  <p>数直線から、$200 \times \frac{3}{5}$、$200 \times 1\frac{2}{5}$という式が立てられます。</p> </div> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ グループで自分の考えを伝え合うことで、多様な考え方に触れ、よりよい考えにしていくためにはどうすればよいか、練り上げることができた。 ・ 全体発表では、考えを共有し1より小さい分数をかけたとき、積はかけられる数よりも小さくなることを理解することができた。 	
まとめる	<p>知識として習得したことを活用する。</p> <p>【まとめ・適用問題】</p> <p>【まとめ】 1より小さい分数をかけたとき、積はかけられる数よりも小さくなる。</p> <p>1を基準とした乗数の大小に着目すればいいんだね。</p> <p>□に当てはまる不等号を書きましょう。</p> <p>① $5 \times 1\frac{3}{5}$ □ 5</p>	